

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和5年9月29日)

事業コード	R5-建-継-09	区分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	広域河川改修事業	部局課室名	建設部河川砂防課
事業種別	河川改修	班名	河川・ダム・海岸チーム(tel)018-860-2514
路線名等	一級河川 旭川	担当課長名	河川砂防課長 木次谷 英成
箇所名	秋田市旭南	担当者名	チームリーダー 玉尾 毅
プランとの 関連	戦 略	防災減災・交通基盤	
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化	
	施策の方向性	頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進	

1. 事業の概要

事業期間	S35~R18(77年)	総事業費	169億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	計画延長L=8,012m、計画高水流量Q=250m ³ /s(1/20)					
事業の立案 に至る背景	秋田市街地中心部の新藤田~大町地区(川反通り)を流下しており、沿川には、人口・資産・商業・観光施設が集中している。そのため、ひとたび洪水氾濫が発生すれば、都市機能の停止に繋がる甚大な被害が想定されるため、治水安全度の向上を目指している。					
事業目的	本事業は、当該区間の河川改修を推進し、洪水氾濫による災害を未然に防止し、住民生活の安定を図るため河川改修事業を推進するものである。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		前回評価	今回評価	増減	理由等	
	事業費	16,893,200	16,893,200	0		
	経費内訳	工事費	5,329,900	5,329,900	0	
		用補費	9,981,100	9,981,100	0	
		その他	1,582,200	1,582,200	0	
	財源内訳	国庫補助	8,446,600	8,446,600	0	
		県債	7,601,000	7,601,000	0	
その他		0	0	0		
一般財源	845,000	845,000	0			
事業内容	築堤、護岸、橋梁工	築堤、護岸、橋梁工				
事業の進捗 状況	全体計画 168.9億円 令和4年度末投資額 110.2億円 進捗率 65.2%					
事業推進上の 課題	市街地中心部を流下する河川であり、河川改修の緊急性が高い河川であるが、改修に必要な用地取得に多大な費用がかかり、また用地移転先等の用地交渉に時間を要している。					
関連する計画等	新秋田元気創造プランにおいて、県が継続的に取り組むべき基本政策「防災減災・交通基盤」の施策の方向性③の「頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進」に位置付けられている。					
情勢の変化 及び長期継続の理由	秋田市の中心市街地を貫流する河川であり、甚大な浸水被害が想定される。上流の無堤区間において浸水被害が発生しているが、県全体の予算制約と全県域での浸水被害発生による情勢の変化により、事業期間を延長する必要がある。					
事業効果把握の 手法及び効果	指標名	河川整備率				
	指標式	河川改修済み延長 / 要改修延長				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	46.6%(R4末目標)	データ等の出典	河川砂防課調べ		
	実績値 b	46.7%(R4末実績)	把握の時期	令和5年3月		
達成率 b/a	100.2%					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	当該河川は、上流の無堤区間において、頻繁に床下浸水被害が発生しているほか、下流は秋田市中心市街地を流下しており、沿川には人口・資産・商業施設が集中しているため、大規模な洪水被害が発生した場合には甚大な被害が想定される。	30点
緊 急 性	当該河川は、局所的に流下能力が不足する区間が存在しており、重要水防区域にも位置付けられていることから、緊急性は高い。	8点
有 効 性	改修により災害防止効果の発現が期待され、また、下流は秋田市中心市街地を流下していることから、有効性は高い。	15点
効 率 性	事業の費用便益比は2.19であり、効率性は高い。また、発生残土の有効利用や家屋移転を最小限に留める計画にするなど、コスト縮減を図りながら事業促進に努めている。	15点
熟 度	秋田市街地を流下する河川であり秋田市民から秋田の”顔”にふさわしい川づくりが求められている。また、現況の河川環境を極力維持できる河川計画に努め、魚類等の生息環境に配慮した川づくりに努めている。	21点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ)	89点
	地元からの要望が強く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、事業の重要性は高く評価できるため、整備を継続し早期完成を目指すべき	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (R5-建-継-09)
箇所名 (一級河川 旭川 秋田市旭南)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況					
	浸水戸数	50戸以上	10	10	7,122戸	
		10戸以上49戸以下	7			
		9戸以下	3			
	浸水面積	60ha以上	10	10	247ha	
		10ha以上60ha未満	7			
		10ha未満	3			
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	旭川小学校、県道26号、秋田中央警察署、中通小学校	
		1施設以上	3			
		なし	0			
	整備計画の策定					
関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	5	H27.6		
	協議中であるが特段問題ない	3				
	策定に着手していないが予定がある	1				
	予定なし	0				
計			30	30		
緊急性	災害発生の危険度					
	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	5	70% (現況175/計画250=0.70)	
		40%以上60%未満	7			
		60%以上	5			
	秋田県水防計画					
重要水防地域	評定基準区分A	5	3	R5水防計画書より区分B		
	評定基準区分B	3				
計			15	8		
有効性	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7		
		災害防止効果は現状と変わらない	0			
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5	河岸の緩勾配化 高水敷整備	
		親水性は現状と変わらない	0			
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	3	都市計画区域	
地域開発の計画がある		1				
予定なし		0				
計			15	15		
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	2.19	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	3項目以上	5	5	橋梁、排水樋管の統廃合 建設廃材の有効利用 家屋移転の少ない河道計画	
		2項目	3			
		1項目	1			
		なし	0			
前回計画との比較						
前回計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	5			
	10%以上30%未満の増加	3				
	30%以上の増加	0				
計			15	15		
熟度	地元の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	3		
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3			
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1			
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	5	要望書R4.11月 秋田市	
		参画している	3			
		参画していない	0			
	事業の進捗状況					
	進捗率 (事業費)	8割以上完了	10	8	(R4)110.2/(計画)168.9 =65.2%	
		5割以上完了	8			
1割以上完了		5				
1割未満		2				
環境との調和への配慮状況						
環境保全への配慮 (秋田県公共事業環境配慮システムでの環境配慮事項)	3事項以上	5	5	工事影響範囲が最小になる計画 排出ガス対策型車両や機械の採用 法面等の緑化の実施 等		
	1事項以上	3				
	環境配慮事項がない	0				
計			25	21		
合計			100	89		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		